

## 「平和と観光の沖縄へ！」

那覇市立松島小学校 4年生 <sup>なりた</sup>成田 <sup>みき</sup>未希

今年は、戦後 70 年、節目の年。私は、平和、観光について考えてみました。

「私たちにとって、身近な平和、観光って何だろう。」

そう思っていると、いつかおばあちゃんが語っていた話を思い出しました。

「ばあちゃんはね、未希と同じくらいの時に戦争を体験したんだよ。勉強も出来なかったし、お父さんやお母さんも亡くなったんだよ。」

そう語っていたおばあちゃんの顔は、とても悲しそうでした。

そのとき、私は気がつきました。

「私たちの身近な平和とは、家族がいる、勉強ができるというとても身近なことではないでしょうか。」

私は、このとても身近な平和を大切にしていきたいと思いました。

では、身近な観光とは、何なのでしょう。

私は、ある事に気がつきました。平和と観光は、結びついているのではないのでしょうか。なぜなら、沖縄が平和でなかったら、観光客の方は、沖縄に来るわけがないからです。

「では、沖縄は、平和なのでしょう。」

私は、まだまだ完全な平和ではないと思います。それは、辺野古への移設問題のことです。私は、辺野古に基地を移設してほしくないと思っています。なぜかという、辺野古には、きれいな海があり、ジュゴンなどの生き物もいるからです。

そこで、沖縄の問題を観光客の方にも知ってもらい、自然や平和を大切にしたいと思います。

また、それだけではなく、沖縄のエイサーやししまい、首里城、方言などの文化や、海、サンゴなどの自然、ゴーヤーや沖縄そば、ジュシーメーなどの食べ物を、観光客の方にアピールしたいと思います。

沖縄の方言に、イチャリバチョーデー（出会えばみな兄弟）という言葉があります。この言葉の意味のように、観光客の方にも、やさしく接したいです。そして、沖縄の方言も大事にしたいと思います。

そのために、私は、沖縄のことをもっともっと勉強して、いい所を残しながら、伝えていきたいです。また、沖縄の新しい所も見つけていきたいと思っています。